

民生委員会でJA尾道総合病院を視察

尾三地域の医療・救急の現状と今後の在り方について



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
(0845-22-2596)
三浦とおる
(0848-48-5044)



JA尾道総合病院（農協病院）

JA尾道総合病院長の田妻先生の話は切実なものでありました。田妻先生によると「尾三地域の公立・公的病院では、医師不足などから夜間救急を一部取りやめる病院もあり、救急車の搬送数は増加の傾向が続いている。重症な患者さんの受け入れも増えており、当院が地域での救急医療において最後の砦となっている」と訴えら

三浦市議は1月15日（水曜日）に民生委員会の視察でJA尾道総合病院（農協病院）に行きました。この視察はJA尾道総合病院側からの要望を受けての視察でした。尾三地域（尾道・三原・世羅）の地域医療の現状と課題について、JA尾道総合病院院長の田妻先生から「尾三地域における地域医療の現状」について話を聞いて、施設の視察を行いました。今後の尾三地域における、地域医療の在り方、救急医療の在り方を尾道市行政としてしっかりとしたプランを立てていく必要があります。

当病院は、小児科医療については、広島県内で3か所しかない小児救急医療拠点病院に指定されており、尾道地区では、唯一時間外診療を行っている病院であることの説明を受け、周産期医療においては、広島県地域周産期母子医療センターにも指定されており、母子医療センターでは6床のNICUと10床の新生児回復室を備え、尾三地域の周産期医療を支えており、8名の小児科医と、新生児集中ケア認定看護師1名を含む28名看護師の体制で、地域の小児医療と周産期医療を守っておられることが分かりました。尾三地域の地域・救急医療を維持していくために、尾道市とのかいについて、プランを考えていく必要があります。

2019

決算議会

子どもの国保料を免除せよ 「子どもに負担」は国保だけ!

岡野議員 子どもに保険料を課している医療保険制度は、他にもあります。 **保険年金課長** 国保以外の保険には、被扶養者方には保険料がかかっていません。 **岡野議員** 子どもにかかる保険料はいくらですか。 **保険年金課長** 18歳未満の被保険者数は約2,200人。子どもにかかる均等割総額は5,000万円です。 **岡野議員** 国が出しているお金の中に、子ども支援分があると聞

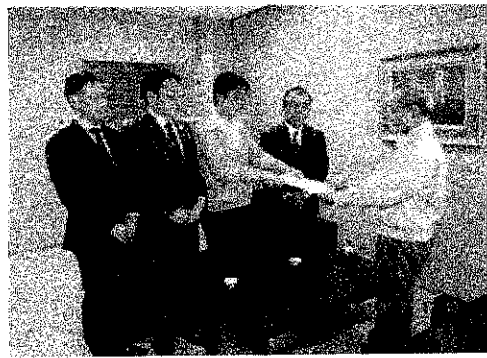
いていますが、いくら出ているんですか。 **保険年金課長** 国からの調整交付金の中に、20歳未満の被保険者分として約800万円ほど入っております。これは全体の保険料を下げ、国に有利に使用させていただきます。 **岡野議員** そうすると、5,000万円引く800万円、2000万円予算を組めば、尾道市の子どもの国保料を免除できると聞かれますか。

福祉保健部長 誤解があつたらいけないので説明しますが、国保料を子どもに賦課しているわけではございません。また、子どもの部分の均等割の免除は、国に対して要望しており、国で対応してもらいたいと考えています。 **岡野議員** そんなことは解っている。子どもから税金を取るのは消費税くらいなものだ。わずかな予算であり、免除を求めておく。

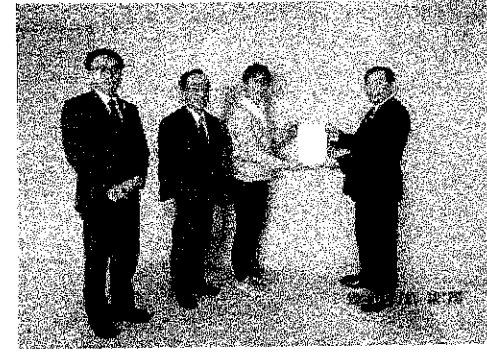
このコーナーでは昨年2019年の共産党議員団の論戦を、議事録から要旨をまとめてお知らせしています。

因島の本屋さん奮闘!

因島公立図書館の書籍発注は地元優先で



富永副市長に要望書を提出



福原議長に要望書を提出

1月21日、因島図書サービスの楠見さんが市役所・市議会を訪れ、公立図書館の書籍発注のあり方の改善を要望しました。共産党市議団からは岡野長寿市議が同席しました。 「要望書」には「窓口は啓文社が行ったとしても、その先は、それぞれ地域の書店が地域の図書館を支えることは可能です。因島図書館の開館から21年間はそういう仕組みで運用されてきました。『特定管理者が、書籍の発注・受注を独占するのは、地域経済に配慮すると明記されている選定基準に反する』とも聞いております。市長のお力を、お借りし、『選定基準の違反』の是正を行う、2020年4月からの運用の改善を行って頂きたい」と要望しました。